

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月30日	作成者名	星野 正義	評価者名	山上 睦只
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	教育委員会事務局・生涯学習課
分野	04 生涯学習	関係課	教育委員会事務局・生涯学習課
施策	12 図書館・郷土博物館サービスの充実		
施策の目的	図書館や郷土博物館サービスの利用により、市民が必要な資料や情報入手し、自らの暮らしや仕事に役立てることで、心豊かな生活を送ることができるようにします。また、図書館や郷土博物館と学校との連携を深め、児童・生徒が実感を持って学習できるようにしていきます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	展示及び教育普及事業
取り組み②	図書館管理運営費
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
図書資料などの貸出点数	年間の貸出点数 (当初値726,000点の0.78%増)	点	731,700	726,000	751,336	719,679	522,643	431,011	
博物館支援ボランティアの養成	登録者数 (当初値から毎年1名増)	人	50	45	32	32	0	0	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	中央図書館は令和2年4月から指定管理者による運営再開したが、コロナの影響で段階的に再開している。また第3次子どもの読書活動推進計画を計画的に推進する必要がある。郷土博物館はコロナの影響で2か月遅れの令和2年6月から再開となったが、展示活動は縮小し、博学連携事業も学校再開後は博物館利用による授業展開が望めないため、博物館支援ボランティアの新規登録については、難しい状況である。来館者増加と博学連携の推進が課題である。彩湖自然学習センターは愛称も決定し、複数の新規事業を推進している中で、発信力と展示改修が課題である。	対応策	図書館は指定管理者と連携し、コロナ禍においても対策を講じた上で安定的かつ積極的な運営を展開していく。子どもの読書活動推進計画は関係課と調整のうえ、読書習慣の形成に努めていく。郷土博物館は常設展示室リニューアルを、PRしながら来館者の増加に努め、また郷土博物館活用検討委員会と連携し、資料の貸出しによる学校支援を中心にサービス提供に努めていく。彩湖自然学習センターは積極的な発信を行うためHPの拡充（おうちミュージアムによる複数の動画等の掲載）を行うとともに、開館以来リニューアルを行っていない一部の展示の改修を検討する。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	令和元年度は図書館本館が設備改修工事のため閉館していたため貸出件数は減少した。博物館支援ボランティアについては、登録者の物故や転出などで計画どおりに増員できていない。令和元年度は施設の改修工事中とはいえ、図書館の貸出件数は減少傾向であり、博物館もコロナの影響があり6月から再開となったことから、進捗状況は「遅れ気味」とした。
C		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	図書館は指定管理者と連携しつつ、コロナ禍において安定的かつ積極的な運営を行っていく。郷土博物館や彩湖自然学習センターは市直営で展示、調査研究、教育普及等を充実させるため学芸員を確保していく。彩湖自然学習センターは一定の成果が出始め、市民が期待しつつあることから、一部展示の改修や動画配信機能等の拡充のため、一部予算増を図る。
↑		

(評価者コメント)

中央図書館は指定管理者による運営となったことから、事業者の提案を取り入れながら市民に安全で快適な読書空間を提供していく。郷土博物館は24年振りのリニューアルとなることから、来館者の増加を図るとともに、コロナにより展示や教育普及活動が制限される中で、調査研究に努め、魅力ある企画展を計画し、資料貸出を通して学校教育との連携を深めていく。彩湖自然学習センターは新規事業等が功を奏し、昨年度上半期で来館者が昨年度比2000人増となり、市民が期待する施設であることから、学芸員の拡充や一部予算の増加を図る。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月30日	作成者名	星野 正義	評価者名	山上 睦只
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード		R 3 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コ メ ン ト	
		事業内容					事業費	施策への貢献度	経費水準	事業手法							受益・負担の公平性
							うち一般財源										
	02	施設運営・維持管理事業		26,539	2	○	A	B	B	B	2	○	A		29,551		
		01 10 04 08 01 02	28,882														
		施設・設備の修繕や警備、清掃等を行うことで、安全で		31,072													
		彩湖自然学習センター博学連携事業		31,002													
		博学連携事業の推進のため		8,286											29,473		
	95	彩湖自然学習センター活用検		338	1		A	B	B	B	1		B		0		
		01 10 04 08 01 95	538														
		博学連携事業の推進のため		404													
		彩湖自然学習センター活用検		404													
				3,766											0		
計 (千円)																	
				事業費												980,769	
				うち一般財源												352,649	
																419,446	
																405,742	
																404,221	
																419,054	
																405,323	
																403,782	

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和3年度で終了 8 令和2年度で終了 9 令和元年度で終了